

業歴 100 年以上の 「老舗企業」 三重県に 921 社

老舗企業の 7 割が製造・小売・卸売
伊勢街道や城下町を中心に長寿企業が多く存在

三重県・「老舗企業」分析調査(2025 年)



本件照会先

服部 光次 (支店長)
帝国データバンク
四日市支店
059-353-3411

発表日

2026/04/17

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

三重県内企業で、2025 年 12 月時点で業歴 100 年以上を数える老舗企業は 921 社あった。また、県内企業数に占める老舗出現率は 3.64% となった。業種大分類別では、製造業が最も多く、次いで小売業、卸売業の順となった。業種細分類別でみると、老舗企業数で清酒製造業がトップ。市区郡別では、老舗企業の数はいすゞ市、津市が上位で、老舗出現率は伊勢市、伊賀市が上位となった。

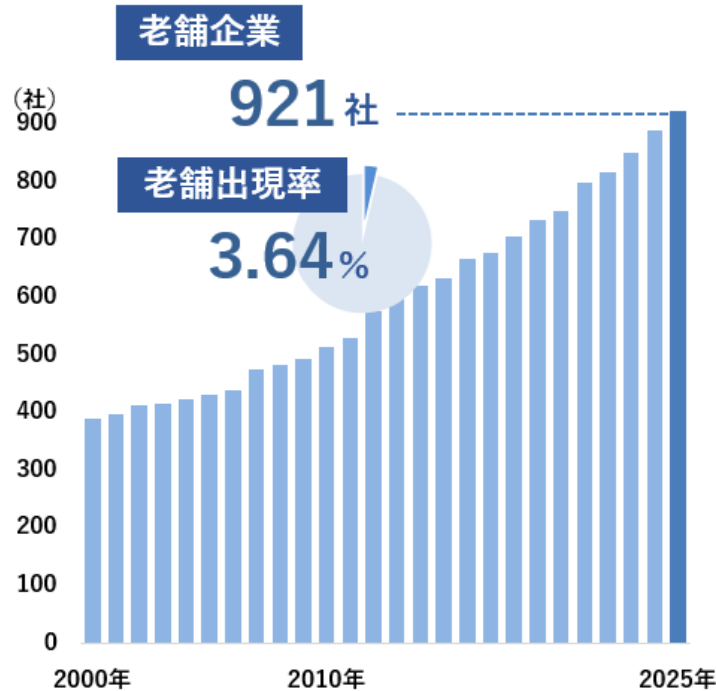
帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025 年 12 月時点、約 150 万社収録)に加え、独自で収集し営業の実体を確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

三重県に老舗企業は921社、老舗出現率が3.64%

三重県内において、2025年12月時点で業歴100年以上となる老舗企業は921社となった。現在のNHKがラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された1925年(大正14年)に創業した32社が老舗企業に加わった。企業数全体に占める老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は3.64%で、前回調査(3.65%)からは0.01ポイント減となった。

参考に県内で最も業歴が長いのは、「なが餅笹井屋」(創業1550年・四日市市)で創業475周年となった。次いで「太閤餅」(創業1565年・伊勢市・創業460周年)が続ぎ、「柳屋奉善・松阪市」、「二軒茶屋餅角屋本店・伊勢市」はともに創業1575年で創業450周年となった。

三重県 老舗企業数 推移



参考 県内の老舗企業(周年順) ※調査等による判明分

創業年	周年	商号	市区郡	主業名
1550	475	株式会社 なが餅笹井屋	三重県四日市市	生菓子製造
1565	460	有限会社 太閤餅	三重県伊勢市	生菓子製造
1575	450	株式会社 柳屋奉善	三重県松阪市	生菓子製造
1575	450	有限会社 二軒茶屋餅角屋本店	三重県伊勢市	地ビール製造
1588	437	オケカ厨熱	三重県松阪市	給排水・衛生設備工事
1603	422	クラギ 株式会社	三重県松阪市	農業用機械器具小売
1607	418	株式会社 桔梗屋織居	三重県伊賀市	菓子製造小売
1615	410	ハッピー農園 株式会社	三重県松阪市	施設野菜作農
1624	401	株式会社野七	三重県伊勢市	建築材料卸売
1626	399	株式会社 村田紙店	三重県津市	和洋紙卸売業
1634	391	株式会社 永餅屋老舗	三重県桑名市	菓子製造小売
1635	390	有限会社 深川屋	三重県亀山市	生菓子製造
1652	373	株式会社 佛庄総本店	三重県鈴鹿市	仏具小売
1684	341	合資会社 西村商店	三重県度会郡玉城町	しょう油製造

企業数は四日市市が 173 社、出現率は伊勢市が 6.30%

三重県内の市郡別で老舗企業数をみると、四日市市が 173 社で最も多かった。次いで津市(155 社)、伊勢市(125 社)、桑名市(99 社)、松阪市(92 社)と続いた。他方、出現率でみると、最も高かったのは伊勢市の 6.30%で、次いで伊賀市(5.54%)、桑名市(4.88%)、尾鷲市(4.66%)、北牟婁郡(紀北町、4.46%)と続いた。伊勢神宮および伊勢街道周辺や歴史ある城下町を中心に商業が栄え、老舗企業の存在感が目立っている。

三重県 老舗企業 市郡別上位

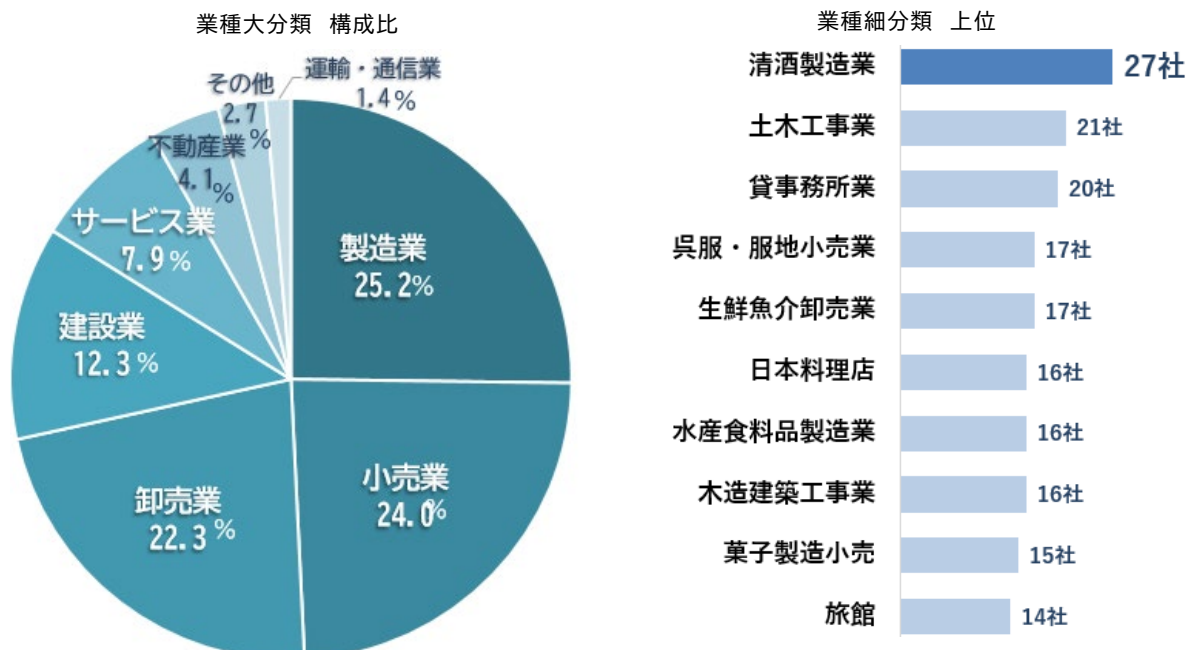
老舗企業数			老舗出現率		
順位	市区郡	老舗企業数	順位	市区郡名	老舗出現率
1	四日市市	173	1	伊勢市	6.30%
2	津市	155	2	伊賀市	5.54%
3	伊勢市	125	3	桑名市	4.88%
4	桑名市	99	4	尾鷲市	4.66%
5	松阪市	92	5	北牟婁郡	4.46%
6	伊賀市	70	6	鳥羽市	4.43%
7	鈴鹿市	31	7	津市	4.09%
8	三重郡	23	8	松阪市	3.67%

老舗企業の 7 割が製造・小売・卸売 清酒製造業が最も多い

判明している現在の業種別にみると、最も多いのは製造業で老舗企業全体の 25.2%を占めた。次いで、小売業(24.0%)、卸売業(22.3%)となり、これら合わせると 7 割を超えている。

さらに細かく業種をみると、清酒製造業が 27 社で最も多かった。良質な水資源と歴史的な商業基盤を背景に老舗企業が多く存在している。

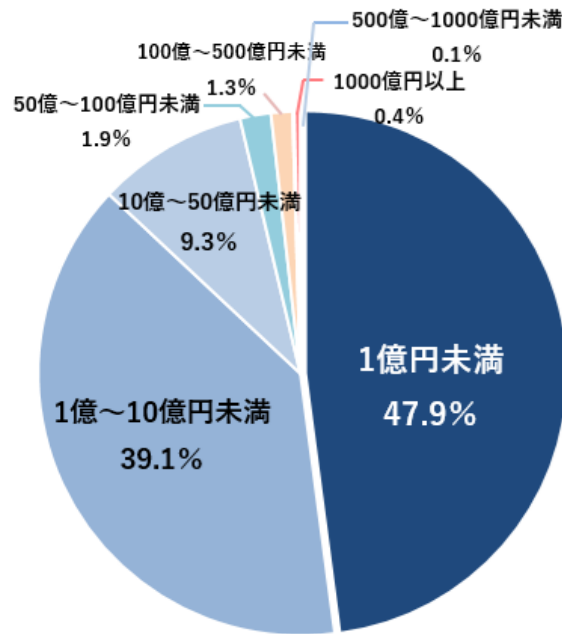
三重県 老舗企業 業種別



売上高 10 億円未満が 9 割近くを占める

売上高が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1 億円未満」が 47.9%、「1 億～10 億円未満」が 39.1%と、10 億円未満で 9 割近くを占めている。比較的小規模な事業規模を維持しながら、地域に根ざして長期にわたり事業を継続してきたことがうかがえる。

三重県 老舗企業 売上高構成比



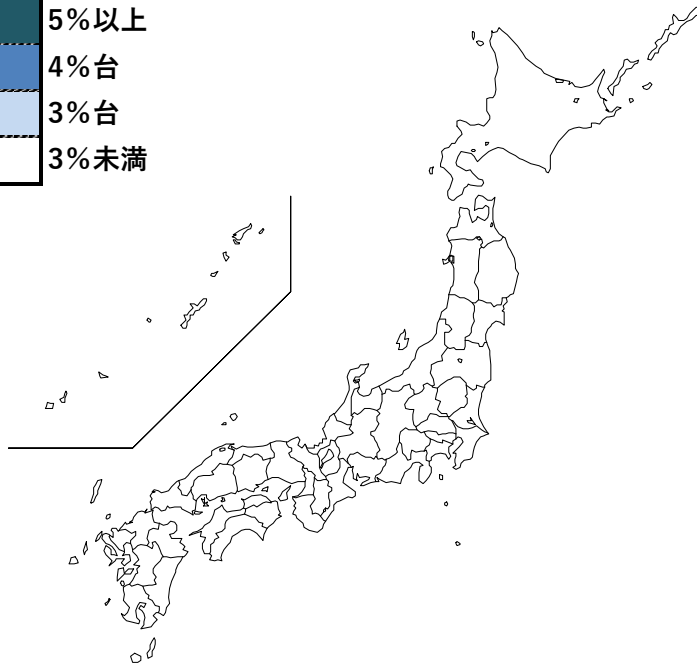
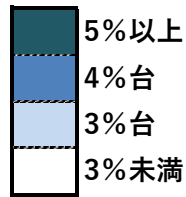
都道府県別 京都府が 5.45%でトップ、三重県は 14 位

老舗出現率は全国平均で 3.11%となったが、これを都道府県別にみると、京都府が 5.45%でトップとなった。古都として栄え、伝統産業の集積や文化・観光需要を背景に企業の長期存続が進んできたほか、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことなども理由として考えられる。ほか、「酒どころ」の山形県、新潟県が続き、3 府県が 5%を上回った。なお、全国平均(3.11%)を上回ったのは 23 府県にのぼる。

三重県の老舗出現率は 3.64%で全国 14 位であった。伊勢神宮を中心とした門前町や伊勢街道周辺、また歴史ある城下町として発展してきた地域があり、これらを基盤に清酒や餅・菓子製造などの伝統を背景に老舗企業が形成されてきた。一方、終戦直後の復興期(1945～46 年)には、民需の回復や産業再建を背景に新たに創業し、その後の経済成長とともに発展した企業も多い。こうした歴史に根ざした企業群と、戦後復興期に誕生した企業が併存している点が、三重県産業の特徴といえる。

他方、大都市圏は低水準となり、東京都は 2.32%、大阪府は 2.30%、愛知県は 2.95%だった。そのほか、九州エリアでは軒並み老舗出現率は低く、沖縄県は 0.17%にとどまる。なお、同県内の老舗で最も多い業種は「蒸留酒・混成酒製造」の 11 社で、泡盛の製造を手がけている。

参考 老舗出現率 都道府県別



順位	都道府県	老舗出現率
1	京都府	5.45%
2	山形県	5.44%
3	新潟県	5.07%
4	島根県	4.59%
5	福井県	4.56%
⋮		
14	三重県	3.64%
⋮		
43	福岡県	1.82%
44	鹿児島県	1.69%
45	神奈川県	1.63%
46	宮崎県	1.56%
47	沖縄県	0.17%

まとめ 中小規模でも続く力、三重県に根付く老舗企業

三重県内で業歴 100 年を超える老舗企業は 921 社となり、前年から 32 社増加した。老舗出現率は前年ほぼ横ばいの 3.64%であった。業種別では、製造業、小売業、卸売業を中心に、長年にわたり事業を継続してきた企業が多くみられる。売上規模別では、10 億円未満の中小規模企業が約 9 割を占めており、比較的小規模でも着実に事業を継続してきた企業が老舗の中心となっている。

一方、全国では 2025 年に老舗企業の倒産が 142 社(負債 1,000 万円以上)発生した。価格転嫁の遅れや、ガバナンスの欠如が表面化した企業の倒産もみられ、老舗企業を含む業歴 30 年以上の倒産件数は、過去 10 年で最多の 3,263 件となった。

長く事業を続けていくためには、時代の変化に対応し、顧客ニーズを的確に捉えながら、製品開発や新技術の導入、販売経路の開拓など、変革を恐れずに取り組み続けることが不可欠である。日本の老舗企業は、海外の経営者が学びに来日するほど注目されており、災害や戦争など数々の危機を乗り越えてきた点から学べるものは多い。

三重県内では、2026 年に創業 100 周年を迎える企業が 40 社近くあり、今後も長期にわたり事業を継続する企業が着実に増加していくことが見込まれる。